

強い気持ちに押されてこの講座に。将来は英語が使える仕事が希望です。



上田先生と受講生たち(昭和女子大キャリア塾)

再就職にはパソコンなどのスキルだけではなく、主婦モードからビジネスモードへの切り替えが大事。主婦が家から一歩出るには精神面でのサポートも欠かせません。そこで必須科目のキャリアプランニングゼミは、様々な課題を「自分の頭で考えて発表する場」としてあります。企業の代表取締役・蟹瀬令子さんを講師に、毎回異なるテーマでファシリテーターたちのサポートを受けながら8回のグループ討議を行います。受講生には毎回のレポート提出が課せられます。

「自分の人生で仕事と家庭にどうかかわっていくか。グループ討議で他の人の意見も聞き、納得できる答えを見つけていくことでやりたいことが明確になり、心の整理ができる」と副学長の小原先生。全員で発表をする最終回には「目標が見えてきた」と感極まって涙ぐむ受講生もいるとか。

「条件の整った大企業で働く女性たちは育児休暇を利用してかつてのように離職しない。従ってポストも空かない。初めから年収500万はいらない、100万でいいからと一歩を踏み出し、自分の夢を叶えるような前向きな気持ちで仕事にチャレンジして欲しい。開拓する気持ちがあれば、出来る仕事は一杯あるはず」と、上田先生は受講生を励まします。

これまで見てきたように様々な仕事の経験やスキルがあっても、子育てしながらの再就職には大きなエネルギーが必要です。仕事に対して一人ひとりの想いも違います。再就職を考えるに

あたっては、①今仕事に費やせる時間はどの位？ ②自分が働くことで家族の生活がどれだけよくなる？ ③家族のサポートや夫の協力は？ ④元の職場、職種への復帰？または再出発？ キャリアを棚卸しして選択肢を洗い出し、一方で狭めすぎないことも大切です。専門スキルをアップデートし就職に向けての準備をする、人的ネットワークを広げて自分を売り込む。コネクションも再就職の大きな活路です。

一人で考えるのではなく様々な就労支援の場に参加し、講師やカウンセラーの助言を得ましょう。講座などへの参加は、参加者同士のかかわりの中で不安や心配が減り、自信を取り戻す早道のはず。新しい自分にチャレンジし、人生を豊かにしたいものです。

さて、再チャレンジにはもうひとつ、**起業**という道も。次回は起業について特集します。



パステル おすすめ本

セカンド・チャンス社会へ

妻が再就職するとき

大沢真知子+鈴木陽子著
NTT出版 2200円(税抜)

既婚女性のキャリアカムバックについて、著者2人で行ったインタビューを中心にまとめた本書。様々な環境下にある読み手にとって、再就職へのイメージが具体的につかみやすい内容です。異なった事例のそれぞれこそ数多くの人々への取材が、もやもやとした働きたい個々の思いに「解」を与えてくれます。

「子どもが小さいうちは、パートやアルバイトでワークライフバランスに重きを置く選択肢でも、その一つひとつの経験を積むことがキャリアにつながる」一今回の特集の中でも何回も掲げられた激励です。この

場合にも「次の目標を定めてそれに向かってプランを描く」ことが実現への要だと知らされます。それは、本書が最も伝えたいこと、自立、「私たちはどのような時代を生きるのか」だからです。

男性が1人で家計を支える時代が終わり、国の雇用政策が女性就労を促す方向にシフトしていく社会。自らの生活設計を描いて、成りたい自分に向かってチャレンジしてほしいと、女性たちを温かくも強く応援しています。今働いている人にも現状を考える上で大いに参考になります。